

令和2年度第3回

小金井市緑地保全対策審議会会議録

令和2年度第3回小金井市緑地保全対策審議会会議録

- 1 開催日 令和3年2月15日（月）
- 2 時間 午後2時00分から午後4時00分まで
- 3 場所 小金井市中間処理場事務所棟研修室 I
- 4 議題 (1) 令和2年度第2回緑地保全対策審議会会議録について
(2) みどりの基本計画（案）に対する意見及び対応結果について
(3) 第2回緑地保全対策審議会・緑の基本計画推進本部・緑の基本計画策定委員会の意見対応について
(4) みどりの基本計画（案）について
- 5 出席者 (1) 委員
会 長 小木曾 裕
副会長 小山 美香
委 員 犀川 政稔
委 員 鴨下 輝秋
委 員 上中 章雄
委 員 串田 光弘
委 員 矢向 潤
委 員 柳井 美紀
委 員 柏原 君枝
(2) 事務局
環境政策課長 平野 純也
環境政策課緑と公園係長 小林 勢
環境政策課緑と公園係主査 中込 甲斐
環境政策課緑と公園係主事 須田 裕士

令和2年度第3回小金井市緑地保全対策審議会会議録

小木曾会長 定刻になりましたので、これより令和2年度第3回小金井市緑地保全対策審議会を開会いたします。

本日は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、できる限り短時間での会議にしたいと考えています。御協力のほどよろしく願いいたします。

それでは、開会に先立ちまして、事務局から事務連絡と本日の配付資料の確認をお願いいたします。

緑と公園係長 事務局の小林です。本日は、お足元の悪い中、御出席くださいますありがとうございます。

まず1点目、会議の進行についてでございますが、本日の会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言下で開催ございまして、本日の会議の開催時間はおおむね1時間半から2時間以内とさせていただければと考えています。会議の円滑な進行に御協力のほど、よろしく願い申し上げます。

会議の進行に当たっては、お互いの御発言内容が聞き取りづらい場合も想定されますので、その際は、再度、御発言等をお願いする場合がございます。つきましては、毎回のお願いとなり大変恐縮ではございますが、発言の際は、御自身のお名前を先におっしゃっていただいた後に、可能な限りゆっくり、はっきりとお話しいただきますようお願いいたします。

2点目、みどりの基本計画（案）に対する諮問答申についてでございますが、本日は、パブリックコメントや庁内推進本部における検討結果を踏まえた計画案について御審議いただく最後の審議会となります。本日、机上に配付させていただきました諮問書のとおり、市長より計画案に対する諮問をお願いするものでございます。本日の諮問に対する審議会の答申を会長のほうより3月9日にしていただく流れとなっておりますので、御承知おきくださいますようお願い申し上げます。

続きまして、配付資料の確認でございますが、次第の下段にございまして、資料1から6までの合計6点と、先日メールでも送付させて

いただいておりますが、紙ページでは、本日机上配付させていただいて
います資料2別紙でございます。お手元の資料に不足等ございましたら
事務局までお申しつけください。よろしいでしょうか。

最後に、欠席の御案内ですが、菅原委員につきましては、所用のため、
本日御欠席の御連絡をいただいておりますのでお知らせいたします。

また、大変恐縮ではございますが、環境部長は、ほかの公務のため、
本日の会議は欠席とさせていただきます。

以上です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

小木曾会長 事務連絡と配付資料の確認が終わりました。不明な点はございますか。
特になければ次第に入りたいんですけども、大丈夫ですか。

次第の次の議事の令和2年度第2回緑地保全対策審議会会議録につい
てを議題といたしますので、事務局から説明をお願いいたします。

緑と公園係長 事務局の小林です。資料1を御覧ください。資料1は前回の第2回の
審議会の会議録をまとめたものでございます。御確認いただきまして、
修正等がございましたら御指摘のほうをお願いいたします。事前に1か
所もらっている部分もありますが、ほかに何かございますでしょうか。

柏原委員 柏原と申します。自分が言ったことに対して訂正なんですけれども、
よろしいですか。

小木曾会長 お願いします。

柏原委員 まず4ページの下から2番目です。「すごいしっかり」と書いてある
んですが、「すごい」じゃなくて、「すごく」と。私の発言の仕方が間違
えました。「すごく」。

それともう一つ、5ページのところの3行目ですが、「何らかの形で
それを反映させていただきたいなとすごく」と、また「とすごく」があ
るんですが、「すごく」を消してください。

以上です。よろしくお願いします。

小木曾会長 ありがとうございます。

ほかにございますか。お願いします。

串田委員 串田です。12ページの真ん中から下のほうに私の発言がありますが、
1行目、「この写真は多分、ケヤキとか小金井桜を保存しようという計
画の中で」という、その「ケヤキとか」というのが、これは内容からす
ると、2行目のところとそのままダブって入っているのではないかなと

思うので、1行目の「ケヤキとか」というのは取る。

それから4行目、「この場所だけじゃなくて、例えばこの南側、上水の南側」、これもダブっているので、「この場所だけじゃなくて上水の南側」として、「例えばこの南側」、この文言は取ると。この2か所を取るということでお願いできたらと思います。

以上です。

小木曾委員 ありがとうございます。

ほかにございますか。お願いします。

柳井委員 柳井です。12ページの真ん中辺りなんですけど、私の発言で、このように変更していただきたいんですけども、「ここに玉川上水のみどりと書いてありますが、この写真ですと、五日市街道のように見えますよね」。

あと17ページなんですけれども、下です。このように変更していただきたいんですけども、「柳井です。6ページの緑と黄色の図、上段と下段にグレーの図と緑と黄色の図があるのですが、内容がとても重なっていると思うところがあります。何度も同じことを記載するよりは、もう少しシンプルに分かりやすい図にすることができるのではないでしょうか」。

以上です。

小木曾会長 聞き取れました？ 大丈夫ですか。ではそのように訂正してください。お願いします。

ほかにございますか。

私から1点だけあります。13ページですが、小木曾ですけれど、上のほうの、「ケヤキは威圧されている」と書いてありますが、「被圧」の間違いです。私は「被圧」と言っていますが、多分間違えている。「被」というのは衣偏に「皮」と書くんです。「被圧されている」という意味なのかなと。

その2つ先も、「桜が被圧」になります。犀川さんのところにも「威圧」とありますが、多分それは「被圧」ですよ。

犀川委員 構わないけど。

緑と公園係長 それでは、御指摘いただいた部分を修正させていただきまして、ホームページのほうに公開させていただきますので、よろしくお願ひいたし

ます。

小木曾会長 それではよろしく申し上げます。

続きまして、議事の2、みどりの基本計画に対する意見及び対応結果について、及び第2回の緑地保全対策審議会・緑の基本計画推進本部・緑の基本計画策定委員会の意見対応について、併せて事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局の小林です。資料の2、3を御用意ください。詳細な説明につきましては、委託事業者のプレック研究所より説明させていただきます。よろしくお願ひいたします。

プレック研究所 それでは、資料の説明をします。

先に資料3ですが、これまでの3回の会議または委員からいただいた意見とその対応をまとめたものになります。

1ページ目ですが、第2回緑地保全対策審議会の意見対応を記載しています。

そして5ページですが、こちらは、第2回審議会の後にパブリックコメントで受けた市民意見とその対応案に関して、庁内の第3回緑の基本計画推進本部での意見をまとめた資料です。

次の8ページからは、この庁内推進本部の中でパブリックコメントに対する修正案等を確認いただいた結果を踏まえて、緑の基本計画策定委員会の委員に内容を確認いただいた結果です。実際は10月26日が最終回の委員会でしたが、パブリックコメント後の対応についても確認いただくということで、書面にて御意見をいただいた結果をまとめたものとなります。

資料3については、中身の説明は割愛しますが、位置づけとしては、以上3点をまとめたものとなっております。

続いて資料2が、実際に市民の方々から計画書（案）に寄せられた意見を整理した中身となります。資料2に表が入っておりますが、この表が全て市民の方からいただいた御意見と、その意見に対する検討結果とをまとめたものとなっております。それぞれ表の一番左に意見ナンバーを1から振っています。

また、資料2を簡単に一覧にまとめたものが、本日机上配付させていただきました資料2別紙になります。

この一覧は、まず計画の項目を記載しており、その右側に、市民の方からいただいた意見数、また先ほどの資料2の意見番号にどの意見が対応するかというもの、資料4、計画書（案）の何ページに該当するかというものを整理したものになります。

意見数ですが、全部でまず22名の方から89件の御意見をいただきました。いろいろな御意見をいただきましたが、特にまとまって似た意見をいただいたものが主に2つありました。

まず1つ目ですが、基本方針1「みどりを守る」に関する御意見です。意見数も34件と一番多くいただいております、その中でも特に複数御意見をいただいたのが、玉川上水の在り方についてです。主な内容は、玉川上水の桜の保全を進めるに当たって、進めるのはいいけれども、生物多様性の観点が見えていないのではないかといった指摘を複数いただいております。

これに関しましては、資料ナンバーでいきますと32から65に記載があります。これに対する回答は、一番まとまっているのが16ページの41番ですが、基本的には史跡という観点から桜の保全を行ってはおりますが、それだけではなく、草堤の生物多様性にも配慮した形で、専門家の委員会の意見をいただきながら進めておりますといったことを回答しています。

またこれ以外にも、玉川上水の歴史や、植物の現状についての記載について御指摘いただいておりますので、実際に計画書にも修正を反映させていただいたところです。

次に、2つ目の複数御意見をいただいたのが、別紙2の一覧表でいきますと上から3項目、「変わりゆく小金井のみどり」というところです。意見数としては9件ということで、一見は数が多いわけではないですが、内容としては、似た御意見を多くいただいております。具体的には、生物多様性に関する観点が削られてしまったのではないかという御指摘でした。

これも、現行計画では、生き物に配慮した緑を作り、守りますという大きな方針の下にいろいろな具体的な施策というものが記載されておりましたが、今回も同じように、現状、課題認識、また将来像の考え方において、生物多様性に配慮した取組を進めていきますと明記しているとい

う回答をしています。

また、今回、生物多様性に限らず、国交省でも推進しているグリーンインフラという考え方があり、生物多様性のみではなく、今日のような雨が降ったときに雨水が浸透するような緑地面の確保の重要性や、ヒートアイランドの対策など多様な機能に配慮しながら緑を守り、作っていきますということを将来像に示すなど、より大きな視点で計画を定めていることを回答に記載しています。

また、この御指摘も踏まえ計画書に、少し生物多様性に関する補足説明を増やしましたのでその点も記載しています。

主に大きな意見はその2点です。そのほかにも複数御意見をいただいておりますので、具体的な内容は資料2の表の中を御確認いただければと思います。

今回、庁内会議、緑の基本計画策定委員会の御意見を踏まえた結果としての資料2ですので、今日の審議会で最終確認をいただいて市民に公表します。この位置づけで過不足等ないか御確認いただければと思います。

説明は以上となります。

小木曾会長

ありがとうございました。

今の御説明でございますけれども、何かございますでしょうか。一度、皆さんしっかりと読んでいただいていると思いますので、大丈夫かと思いますが、いかがでしょうか。

では、特にないようでしたら次に進みたいと思いますが、議事のみどりの基本計画（案）について、事務局より説明をお願いしたいと思います。

緑と公園係長 事務局の小林です。資料の4から6を御用意ください。同様に、説明につきましては委託事業者のプレック研究所より説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

プレック研究所 それでは、資料4、5、6について説明をさせていただきます。

まず、資料4ですが、こちらはみどりの基本計画の最新版となっております。先ほどパブリックコメント、また各委員の方からいただいた御意見の対応状況が分かるように、目次の裏にメモをつけております。

1ページの前のページ、目次の裏なので、表紙をめくって二、三枚目

にメモという形で示しておりますが、この計画で、パブリックコメントを受けて修正した箇所は赤字で、緑地保全対策審議会の御意見を踏まえて修正したところが緑字、庁内の推進本部が青字、緑の基本計画の策定委員会がオレンジ色の文字という形でお示ししております。

具体的な各章についての御意見は既に第2回にも皆さんからいただいておりますので、今回大きく変わったところとしましては、帯ですとか全体のレイアウトを整え直したところと、あと写真とか図表、そういったものを整理させていただいたこと、またコラムの中も全て入れたので、これで完成という形のイメージで出しております。

次に、資料5は計画書の概要版です。これも前回お出ししております、細かな内容についてパブリックコメント等で修正した箇所を手直したものとなっております。

続きまして、資料6になります。こちらは、こども版という位置づけにしております、大人ではなくお子さんにも小金井市の緑について興味を持っていただくために作った普及版となっております。言葉を少なめにして、小金井市の緑が減っているという現状を伝え、かつ計画書の中でどんなことを取り組んでいこうとしているかを示す内容としております。

裏面には、「小金井のみどりを守る行動チェックリスト」を掲載しています。こちらは、昨年実施した子供ワークショップで、お子さんたちの意見で作った緑を守るためのチェックリストを基に作成しました。このように記入しながら見ていただけるような資料をこども版として作りました。

資料4、5は、これまで確認頂いた内容の修正版となっておりますので、最終的な御確認をいただければと思います。

また資料6に関しては、今回、新しく提示する内容となりますので、気になるところ等ありましたら御意見をいただければと思います。

説明は以上となります。

小木曾会長

ありがとうございます。

説明が終わりましたが、今日の進め方ですけれども、まず資料4の計画案本編、その後、資料5の概要版、その次に資料6のこども版という順番に進めたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、最初に資料4の計画案の本編についてですが、本日は、最終的なレイアウトとか、新たに追加したコラムなどを中心に、何か御意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

柏原委員 よろしいですか。それでは、この資料4のところですけども、順番にというか、感じたところを申し上げるますけれども、おしまいの方になってしまいますが、75ページです。資料編のところですよ。その資料編の、緑被率の目標値設定の考え方というところの、この表ですけども、何かにじんだような感じがするんですが、そういうことではないでしょうか。何かにじんで感じがするのです。

小木曾会長 円グラフですね。

柏原委員 そうです。円グラフと、その図26のところ。下の「出典」という字ははっきりしているんですけども、その図26と図28という、その下の字と、それとこの円グラフ、それが何となくにじんでいるように思うんです。よろしいですか。

それともう一つは、やっぱり資料なんですけれども、69ページですが、ここに緑地現況図というのがあるのですが、前というか、平成23年に出したところの図で資料3というのがありますが、そこのほうが分かりやすい。

それともう一つ、重なるというか、1つにしなければいけないのが2つになっているんですね。この69ページの図を見ていただくと分かるのですが、ここ、重ねなければいけない、1本にならなければいけないところが2か所になっている部分があるんです。ですから、この図は、69ページはすごく分かりにくいという感じがしました。

以上です。

小木曾会長 ありがとうございます。

まず75ページ、円グラフ、他の凡例もそうだと思いますが、あと下の表記について、若干にじんでいるところは明確に見えるようにしていただきたいと思います。こちらは大丈夫ですか。

緑と公園係長 75ページのほうから申し上げますと、出典からそのまま貼り付けている関係で、このような、にじんだような見え方になっているので、新たに円グラフを作り直して貼り付ければにじんだような見え方にならないと思いますので、そこは対応させていただこうと思います。

小木曾会長　　よろしく申し上げます。

緑と公園係長　それと69ページのほうの、左右の重複しているように見えるというところなんです、A3にすればそういう形にはならないんですが、A4でページを分けるとこのような重複したように見えることとなります。前回の計画のほうが見やすいという御意見はごもっともかなと思うので少し工夫させていただければと思います。

柏原委員　　すみません、図のほうなんですけれども、69ページの緑被図なんです、確かに重複しているところ、重複はあったほうが多分見やすいと思うんですけれども、枠が、どこが重複しているかが分かりやすいように、前回、インデックス枠のようなものを作っていますので、そういったものをおつけすれば大分見やすくなるのではないかなと思っております。

緑と公園係長　本日、前回の計画書も机上のほうに置かせていただいています、資料編が97ページの最後についていまして、その資料2、資料3のあたりとなりますが…。97ページの後ろが資料編になっておりますので、参考に御覧いただければと思います。97ページの裏側に、資料編で、資料2、資料3という形でつけさせていただいて、前は黒い線が入っているとおり、インデックスとして線が入っている関係で見やすくなっているのかなと思いますので、そこは、前回の計画を参考に、こちらでも検討させていただければなと考えていますので、御意見ありがとうございました。

小木曾会長　　凡例も大分増えているので、前より、多分、記載内容とかが書かれているので、今回、何を表したいかというのは、ここまで入れたいとすれば少し細かくなりますが、あとは解像度みたいな感じですね。何かやれそうですか。大丈夫？

プレック研究所　少し工夫をしてみたいと思います。

小木曾会長　　ではそういうことでお願いいたします。

ほかにございますか。お願いいたします。

小山委員　　小山です。同じような感じで、今の小金井市全体の図で言えば、今回の48ページ・49ページもそうなんですけれども、もうちょっと私が素案のときにはっきり気がついて言っていればよかったなと思うんですけれども、左側のところに、その凡例の中で、「みどりの拠点」で「身

近な交流拠点」というのがあるんですけども、ここに市民の憩い・活動の場として活用を促進しますということで、学校とか公共施設ということで緑を育成するというようなことが書いてあるんですけども、49ページの凡例のところには公共施設をオレンジで示すというのが出ていますよね。そのオレンジなんですけど、実はこの図を見ていると、新庁舎1個だけなんですよ。

これって、公共施設って、例えば同じ図として、57ページなんですけども、これは武蔵小金井地区の図が出ていますね。ここも同じなんですけども、その公共施設というのが何を指すのか、にぎわいの拠点として何を指すのかというところでは、公民館、図書館、保健センター、市民会館、市民交流センター、こういうものが一切載っていないんですよ。それでいいのかどうなのかというのをもう一回考えたほうがいいのではないかというふうに思っておきまして、それと、それで言うのであれば、実はこの48ページのところの上のほうの間のところに小金井第一中学校があるんですが、その横には第二小学校があって、またもう一つ右には特別支援学校もあるんですけど、これがすっぽり抜けちゃって、その2つが入っていないんですね、名前が。それで、実は素案のところには一中と二小って、ちゃんと2つ入っているんですよ。

なので、ここ、小中学校で二小だけないというのは、市民が見たときに、ちょっとどうなんだろうというのがあるので、やっぱり二小というのはちゃんと記載して入れたほうがいいのではないかと、そこだけ気がついたので、公共施設の在り方、置き方というものについてきちんと精査したほうがいいのかというふうに思いました。

小木曾会長 ありがとうございます。

いかがでしょうか、公共施設。

串田さん、今の関連の質問？ 関連の質問ならお願いします。

串田委員 先にすみません。串田です。この地図と、特に緑に関する現況図関連の地図と、それから、その凡例に関して、これは、何回か前の会議でもいろいろ出ていたと思うんですけども、基本的に幾つかの地図なり図版を合成して作っている。それはそれで、1つの考え方として、ここに入るべき地図、図版はこれはいいだろうと、で、合成するのは構わないと思うんですけども、そのときに、あのときもあったと思うんですけ

ど、凡例がダブっていたり、消えていたり、いろいろなことがありました。

それで、例えば公立の高校が抜けていたりとか、あのときもいろいろそういうことがあったと思います。それで、それはいろいろ精査して修正するという話だったと思うんですけども、それがいまだに不完全な形であるのではないか。

例えば五十数ページから、小金井を3地区に分けて、重点地区の施策というのがありますけれども、その例え凡例でいきますと、ほかのところもそうなんですけれども、緑の太い線がありますね、身近な交通軸というんですか。ここに破線があります。破線、これは計画道路そのままだと思うんですけども、これに関しての凡例での破線が書いていない。見てみると、初めから、その48ページの地図からずっとないわけですね。

そうすると、これは凡例に何で入っていないのかと。そういうふうに、凡例に、ここには入っていないんじゃないか、凡例もあるけれども公共施設が抜けているのではないか、こういうところが、もしこれからもうちょっとみんなで調べたらいっぱい出てくるんじゃないかなという感じがするんですけども、これは、ここだけではなくて、いろいろこういう地図が出てくるときに、もう少し、小山副会長もおっしゃいましたけれども、抜けている・抜けていない、あるいは凡例が、例えば一番最初の48ページ・49ページの地図なんかは、左側にあるのは、これは凡例なのか何かよく分からないけれども、凡例とは別にこういうふうな形で載っているけれども、ほかのページに行くと、これは全部凡例に入ってくる。これは多分、全部いろいろな資料をまとめて合成していくときに出てくるひずみではないかなと思うんですけども、この地図に関してはもう少しチェックをして、今のような意見が出ないように、少しいろいろ調べたほうがいいんじゃないかと思います。

以上です。

小木曾会長 小山委員、それから串田委員、御発言ありがとうございました。同じような内容かと思います。どうでしょう。

緑と公園係長 御意見ありがとうございます。御指摘どおり、凡例に入っていないものがあつたりですとか、小金井第二小学校が含まれていなかったりとい

う部分がありますので、こちらのほうでも修正させていただきます。

公共施設の表記のルールといいますか、考え方を申し上げますと、公民館だとか交流センターというのも、当然、身近な交流拠点としての中に入れてはいるものでして、45ページの中に「身近な交流拠点」とありますとおり、広域な交流拠点、身近な交流拠点の対象が書かれているとおりではございますが、ここに全ての公共施設を入れてしまうとかなり煩雑になってしまうというところがございまして、都市公園と小中学校のみをこちらの交流拠点としては記載させてまとめております。

あとは、今、策定中の都市計画マスタープランにおきましても「水・緑・環境共生分野別方針図」というものがございますので、そちらとの整合を図るような形で表記させていただいているところでございます。

以上でございます。

小木曾会長 小山委員、お願いします。

小山委員 今、市の考え方は分かりました。だとしたら、公共施設のオレンジ色の凡例って要らないんじゃないですか、逆に。あることで逆に混乱するというか、あれがない、これがないという話になってしまうので、市役所の新庁舎のところには「新庁舎」ときちんと1つだけ入っていますので、だとして、あとほかのものを載せないのであれば、このオレンジ色のところは抜いたほうがいいのではないかと私は思います。

小木曾会長 どうでしょう。

緑と公園係長 今、御指摘いただいたとおり、公共施設の部分はこちらのほうでも修正させていただきます。

また、串田委員からもあるとおり、凡例の扱いについて、分かりづらい部分もありますので、もうちょっと分かりやすいように整理させていただければと考えています。よろしく願いいたします。

小木曾会長 ここは力仕事で大変だと思いますが、1枚、例えば48・49ページをきちっと固めたものを使っていくというやり方ですので、そんな形でやってもらえばまとまるのではないかと思います。よろしいでしょうか。

それでは、ほかにもございますか。どうぞお願いいたします。

上中委員 これは多分誤植だと思いますが、45ページで「学校・公共施設」区分の「小学校・中学校・高など学校」と記載の「高など学校」の箇所について御確認をお願いします。

小木曾会長 表の中ですね。

緑と公園係長 すみません、45ページの身近な交流拠点、学校・公共施設のところの対象のところ、「高など」となっていますので、「高等学校など」が正しい表記ですので、「高等学校」の「等学校」の字を追記するようにさせていただきます。御意見ありがとうございます。

小木曾会長 ありがとうございます。

犀川さん、お願いします。

犀川委員 犀川です。ちょうど今のページなんですけど、表の真ん中に、広域交流拠点の中に「都立多摩霊園」、前回も言ったんですが、地図のほうは直っていましたが、ここの「多摩」の「摩」の字が「磨」になっていません。

それからもうちょっといいでしょうか、誤植みたいなものが幾つか。まず6ページの一番下のところに、「17のゴール・169のターゲットから構成される……」とある、「構成されています。」で、一旦「。」で切ったほうが、この文章は分かりやすいんじゃないかなというふうに思います。

小木曾会長 何行目の……。

犀川委員 一番下です。「令和12年までに」のちょっと前のところで、一旦文章を切らないと分かりづらい。

あと右ページ、私の意見で空いたページに入れてもらった部分なんですけど、下のほうに、「わたしたちが吸っている酸素は、植物が」とある、これは平仮名で「すべて」というのを入れてもらいたいと思うんですね。誰かが水の電気分解で酸素を作っているわけじゃなくて、吸っている酸素は全て植物が作っているのだから、「すべて」と入れてもらいたいことと、それから一番上の「わたしたちの命を支える」という、この字が小さ過ぎると思うんです。この1ページでもって、この全体の冊子が成り立っているような大事なところなので、字を大きくするか、あるいは左側のページみたいに「みどりは私たちの命を支えています」なんて、ちょっと大きめに書いたほうが分かっていいんじゃないかと。これがあって、で、緑が大事だと、こういうふうには書かなくちゃいけない大事な部分だと思うんです。

それから、ついでにあと2か所ぐらいかな。17ページの右下の枠、

「市民のみなさんに取り組んでほしいこと」の中に、「地元の野菜を購入など農家の応援」を、「購入するなど」と、「など」の前に「する」と入れがほうが分かりやすいかなと思います。

それから、これは誤植かな、35ページの「主な取組」の「市」の青で直っているところがあります。「該当しない規模な建築行為に対して」の、「な」は「規模の」の間違いだろうと思うんですね。

鴨下さんから、今、追加の訂正で、そのちょっと前に、「指定開発事業に」と、「に」が2つになっちゃっているんですね。「に」を1つ取って、それで「該当しない規模な」の「な」の代わりに「の」を入れると。2か所間違いがあります。

あと2つ、それから、これはさっきの多磨霊園の「磨」の字が違うことですね。

それからあと1つ、52ページ、ちょうど真ん中辺りに「300㎡以上に引き下げて」とあるけれども、最初、どれぐらいだったのか入れておいたほうが良いと思うんですよ。何平方メートルだったのが300平方メートル以上というふうに引上げてというふうにしたほうが市民の人は分かりやすいかなと思います。

まだ幾つか、どこかに行っちゃったんですけど、気がついたところは以上です。

小木曾会長　　今の犀川さんの御意見については大丈夫ですか。

緑と公園係長　事務局の小林です。今いただいたところにつきましては修正のほうをさせていただきます。申し訳ございませんでした。

あと、52ページの最後の部分につきましては、引下げ前は500平米以上でしたので、500平米以上から300平米以上に引き下げていますという形で追記のほうをさせていただければと考えています。よろしくをお願いします。

小木曾会長　　お願いいたします。

では鴨下先生。

鴨下委員　　鴨下です。同じく文言についての指摘と質問ですので、よろしくお願
いします。

まず6ページの一番下、ヒートアイランド現象の語句の説明があるんですが、その中で、「年内の温度が」とあるんです。「年内」というのは

どういう意味でしょうか。

プレック研究所 すみません、何ページですか。

鴨下委員 6 ページの一番下です。ヒートアイランド現象の説明の中に「年内の」とあるんですが、ここがうまく意味が取れないんですが。

小木曾会長 6 ページの下から……。

鴨下委員 4 行目ですね。

小木曾会長 4 行目ですね、6 と書いてあるところ。

緑と公園係長 事務局の小林です。誤植があつて大変恐縮なんですが、「年内」ではなくて、「年」という字の変換を間違えていまして、「大都市」の「都市」という漢字が正しい表記となります。失礼いたしました。

鴨下委員 鴨下です。了解しました。

すみません、まとめていきたいのでよろしくお願ひします。続きまして、8 ページ、全体に、「つなげる」とか「つなぐ」という言葉がたくさん出てきますが、基本的に平仮名になっています。これが、途中、漢字になっちゃっている箇所が2か所あるので指摘したいと思います。41 ページの一番上の行、「つなげる」が漢字になっていますね。よろしいでしょうか。ここはやっぱり統一して平仮名のほうがよろしいかと思ひます。同じく62 ページの下から2行目も漢字になっています。

気がついた「つなげる」、「つなぐ」の漢字の部分はその2か所なんですが、ひよっとしたらほかにもあるかもしれませんので、気がついたら平仮名に統一していただきたいと思ひます。

続きまして、飛びましてすみません、39 ページ、文章で上から10 行目、「市民によるみどりの調査結果を活用して、みどりの実態を共有します」とありますが、これは実態の知識とか情報を共有するということではないでしょうか、内容的には。実態そのものを共有するのかと思ひて……、おかしいですか。ちょっと検討してください。直してほしいということじゃなくて、一応指摘ですので。

続きまして、58 ページの上のほうに赤字で書かれている部分があるんですが、法政大学と国際基督教大学は「大学」となっているんですが、「東京農工大」だけが「学」がないので、これもちょっとおかしいので「大学」と入れていただきたいと思ひます。

それで一応以上です。

小木曾会長 詳細にありがとうございます。

今の件、大丈夫ですか。

緑と公園係長 事務局の小林です。細かい部分まで御指摘ありがとうございます。対応のほうをさせていただきます。

以上です。

小木曾会長 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。串田さん、どうぞ。

串田委員 串田です。文言のことに近いかな、9ページの「住宅都市にふさわしい質の高いみどりとは？」というところがありますけれども、そのの上から3番目のところに、樹木が生い茂り不法投棄の場や外来生物のすみかになっている、それを間引いたりすることで、住宅街と融合する手入れを行うとあります。樹木が生い茂ると不法投棄の場になりやすい、これは確かにそうですけれども、外来生物のすみかになっていると。そうすると、樹木が生い茂ること自体が非常に問題があるような形に取られると。

住宅街ということに関して言うと、生い茂り過ぎるのは非常にいろいろな問題が出てくるかもしれない。これはすごくよく分かるんですけども、単に樹木が生い茂ると外来生物のすみかになると。在来生物だって豊富に増えてきます。ですから、ここの文言もちょっと考えたらいいかないかなというふうに思いました。

それから、ちょっと内容が違うことかもしれませんが、それと、今発言していいのかどうかもちょっと分からないんですけども、この基本計画の本編があって、概要版があって、こども版がありますけれども、こども版の表紙を見ていて思ったんですけども、小金井市には、市の木、花、それから鳥、虫というのが制定されています。そのことがどこにも書かれていない。緑の基本計画の中では、コラムでも何でもいいから、ちょっとあってもいいのではないかなと。

それを思ったのは、基本計画の表紙には市の花、桜が出ています。カワセミもいます。それだけかな。こども版のほうの表紙がクイズになっています。小金井市の木、ケヤキ、小金井市の花、桜、小金井市の鳥、カワセミと出ています。小金井市の虫、カンタン、出ていません。カンタンに関しては、市のほうのいろいろな印刷物では非常にかわいそうな扱いで、ほとんどこうやって無視されてしまうと。特に子供向けの表紙

にクイズとしてここに出ているのであれば、小金井市の虫、カンタンもぜひ入れてほしい。

ここには、小金井市の木、小金井市の緑と、小金井市にはこういうのが制定されているよというふうに何となく分かるけれども、これが制定されている花ですよ、これは木ですよ、これは鳥ですよということが何となくよく分からない。それで答えのほうはどういうふうになっているかという、それには一切触れていない。それで、何らかの形で、基本計画全般に、どこかの小さいコラムでもいいけれども、小金井市の緑、幾つか制定されているものはしっかりと書かれていたらいいのではないかなと思いました。

以上です。

小木曾会長 非常に重要な視点だと思います。

いかがでしょうか。まず最初に9ページのほうですが、外来生物。

緑と公園係長 事務局の小林です。9ページの「外来生物のすみかになっている」という部分ですが、在来生物もいるのではないかという御指摘がありますが、あくまでもこの4つは例示しているもので、そういう外来生物のすみかになっているところもあるという意味で書かせてはいただいているところでして、ちょっと書き方が誤解を与えるような御意見ですので、こちらのほうで工夫をしていきたいなと思います。

小木曾会長 外来生物のすみかになっているところもあるという言い方、全てが外来生物であるというところ……。

串田委員 串田です。樹木を間引くと増えてくる外来生物もあります。日向ができれば増えてくるものもある。日陰になると消えていくものもある。それは外来生物・在来生物問わず両方あります。絶えず今も問題になっていて、パブリックコメントで物すごい数の意見書が出ている玉川上水の問題、あれだって、日陰になっているところが日向になってきて、消える生物もあれば、逆に、私が小さい頃、まだあそこは非常に日当たりのいい、ケヤキの木も当時は茂っていなくて、水が流れていたもので、それが消えて、その日当たりがいいところから日陰になって、あれだけうっそうとしてくると、日向で育つ植物は消えていくわけですね。それはどっちもどっちというようなところがありますので、その玉川上水はともかくとして、ここに書いてあるのは、何か文言を変える、外来生物に

関してはまず外しておいたほうがいいんじゃないかなというふうに思います。

小木曾会長 外来生物は種類がそこら中にいるとっては変ですけども、ここだけではないですもんね。

串田委員 管理をされないとか、何かそういう文言にすればいい。

小木曾会長 何か害虫というか……、これは意外と難しいところですね。どっちにしても、もっとどう読んでも間違いないような書き方しておく必要があるかもしれないですね。

串田委員 意図はよく分かるんですけどね。

小木曾会長 検討できそうですか。

緑と公園係長 事務局の小林です。ちょっと即答することができないので、ちょっと検討のほうをさせていただければと思います。

小木曾会長 あともう一件、ありましたね。

事務局 コラムの件で、市の虫の件につきまして、市の花、市の木、市の虫については、コラムなどで紹介のほうをさせていただければというふうに考えていますので、コラムの追加を検討させていただきます。

小木曾会長 それではお願いします。

ほかにございますでしょうか。

上中委員 意見ではなく、御質問なのですが、「みんなで育てよう小金井のみどり」のこども版について、ジブリのキャラクターの画像が入っているのはよいと思いますが、ジブリさんの承諾を得たという形でしょうか。それと承諾するなら、ジブリのキャラクターである「トトロ」や「アリエッティ」の画像を入れてほしいなどのジブリ側の要望もあったのでしょうか。

小木曾会長 こども版はどうしよう。後からにしましょうか。

緑と公園係長 もしよろしければ回答します。

小木曾会長 それでは、回答してください。

緑と公園係長 事務局の小林です。ジブリのイラスト使用の件につきましては、直接ジブリさんのほうにメールをさせていただいているところですが、御担当の方から直接のお返事というのはいたできておりません。したがって、ここで使わせていただいている画像については、昨年からジブリさんが常識の範囲内で使用が認められているものを公開しております。

そちらの画像を3枚、事務局側で考える常識の範囲内で、緑の保全のため、緑の保全の普及啓発という目的で使わせていただいております。

以上です。

小木曾会長 ありがとうございます。一応許可というか、ルールに基づいてやっているということですね。左下にちょっと記載した、クレジットはありますね。こども版は、後程また議題とさせていただきます。

ほかにございますでしょうか。お願いします。

鴨下委員 鴨下です。4ページなんですけど、下のほうに生産緑地についての説明がなされています。書いてあるとおり、令和4年に生産緑地の指定が切れて、今後買取りの申出が増えるのではないかと懸念ということで書かれているんですが、ここまで読むと、じゃあ、これから先、農地がみんな売りに出されてなくなっちゃうのかというような、知らない方はそういう疑問を抱かれる方もいると思うので、必要かどうか私には分からないので、一応附則として一番下に生産緑地の説明がございしますが、その後にこういった文言を入れていただいてもいいかなということで、ちょっと言わせていただきますと、括弧つきで構わないので、「令和4年10月以降は指定期間が10年ごととなり、継続できる」という内容、今後の内容なんですけど、必要かどうかは私には分からないので、もし必要と判断されたら、そのような内容を付け加えていただいてもいいかなと、今、意見を言わせていただきました。

以上です。

小木曾会長 ありがとうございます。非常に大事な話のような気がしますが、いかがでしょうか。括弧書きで記載する。

鴨下委員 ちょっと余計な話なんですけど、要するに引き続き生産緑地の指定を、今度は10年ごとなんですけど、できるので、農家がどんどん売りに出すなんていうことは現実にはないので、そういった心配というか、大きな変化はないですよということをちょっとおいたほうがいいのか、知らない方は、令和4年以降は畑がなくなっちゃうんじゃないかと思われるので、ちょっと付け加えました。

以上です。

緑と公園係長 事務局の小林です。小金井市では、大体7割から8割ぐらいは特定生産緑地のほうに指定していただけるというふうに、意向調査の結果、分

かっておりまして、その辺の情報がここにも記載できれば、そういった誤解が生まれないのではないかなというふうに考えていますので、注釈よりは本文のほうでもうちょっと明確にしたほうがいいのかというふうには考えています。

鴨下委員 鴨下です。実は令和4年からの特定生産緑地の申請というのが今現在も続いておりまして、この最終的な締切りが今年の9月30日なんです。ですから、この計画が出た時点では、どれぐらいの人数が特定生産緑地によって引き続き生産緑地として農作業をするかというのは確定できないので、ちょっとその辺があいまいになっちゃうかもしれませんが、余談なんですけど、私、今、農業委員会で緑町のほうの担当をしまして、緑町は全員、今現在持っている生産緑地の方は引き続き農業を続けるということで、だから小金井全体でも9割以上は間違いなく引き続き生産緑地をやるということになると思います。ただ正確な数字はこの計画が出たときには出ないので、そこだけはちょっとあいまいになってしまう可能性はあります。

以上です。

小木曾会長 非常に具体的な話をありがとうございます。それも踏まえて……。

緑と公園係長 事務局の小林です。今御指摘された部分につきまして、確定できない数字を載せてもいけないのかなとは思いますが、資料編の74ページには、29年度時点で意向調査の回答結果として、8割が特定生産緑地により維持される可能性があると考えられますというような記載をしております。こちらを見ないと、本文のほうだけ見ると誤解を与える可能性がありますので、ちょっと表現の工夫をさせていただければと思いますので、御意見をいただきありがとうございます。

以上です。

小木曾会長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。ほかにはないですか。大丈夫ですか。

では、御意見がないようですので、次の議題に入りたいと思います。

次は概要版です。御意見をお願いします。どうぞ。

犀川委員 概要版ですが、一番下のほうの「10年間で約40ヘクタール」のところですけど、「10年間で40.53ヘクタール減少しています」というふうなことなんです。これは、10年間でということですから、10

年間の「10」の前に「この」という平仮名を入れておいたほうが分かりやすいかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

以上です。

小木曾会長 ということですが、いかがですか。

緑と公園係長 事務局の小林です。御指摘のとおり、入っていたほうが分かりやすいというふうに思いますので、対応のほうをさせていただければと思います。

以上です。

小木曾会長 よろしくお願ひします。

ほかにございますか。

鴨下委員 鴨下です。資料4の32ページに関することなんですが、一時、緑中で、夏に少しでも暑い日差しを遮るためにゴーヤのつるを育ててベランダにはわせていたんですね。そういう取組を、今現在、小中学校でやっているのかどうか私には分からないんですが、もしやっているというようなことがあれば、そういったこともこのページに少し載せていただいてもいいのかなとは思いますが、いかがでしょうか。やっているんでしょうか。

小木曾会長 学校ですね。

鴨下委員 はい、緑中学で、一時、ゴーヤをはわせていたんですね。日差しをよけていたり、非常に効果的なことをやられていたんですが、最近はやっていないのか、見ていないんですが、ほかの小中学校のことは分からないので、もしそういうことをやっていけばここに記述されてもいいのかなと思いました。

小木曾会長 どうですか。

緑と公園係長 事務局の小林です。今現在、やっているかどうかというのは、ちょっと確認しないと分からないですが、やっているようであれば、こちらのほうで紹介のほうをさせていただきたいなというふうに思います。

以上です。

小木曾会長 ほかにございますか、概要版のほう。

矢向委員 誤植かなと思うんですが、この概要版の見開きの右のページの上、緑色の2行目、「市、事業者、市民で役割分担」の次の「っ」って、これは正しいんですか。ちょっと気づいたところ……。

緑と公園係長 誤植です。修正します。

小木曾会長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。最後のページの図は、もちろん新しいものに入れ替えると思います。

ないようでしたら、最後、こども版のほうに行きたいと思います。それではこども版のほうの審議、よろしくお願いします。

犀川委員 犀川です。最後のページに逆さまになって表紙のクイズの答えというのがあります。逆さまにしてもらって、下から4行目ぐらいかな、「貫井神社と滄浪泉園の湧水も57選に選ばれているんだよ」、ここまではいいと思うんですが、次の「3つコンプリートしてみよう」という、これは意味が分からないし、「3つコンプリートしてみよう」というのはそっくり要らないと思うんです。「選ばれているんだよ！」で終わりにして、「3つコンプリートしてみよう」って、これはちょっと意味不明なんですけど。

小木曾会長 これはどういう趣旨ですか。

緑と公園係長 事務局の小林です。3つとも巡って見てみようという意味を込めたんですが、ちょっと分かりづらいようでしたら表現を変えさせていただきます。

小木曾会長 「巡って見てみよう」ならいいんじゃないですか。

ほかにございますか。どうぞ。

串田委員 串田です。いろいろあるので……、表紙の市の虫、カンタンに関しては先ほど述べましたので、ぜひよろしくお願いいたします。

そして、見開きの左上ですけれども、「みんなのじまん、小金井のみどり」とありますね。これ、基本計画の1から3のところの話ですよということですが、そこにイラストが、野川、公園、畑とあります。この1から3のところを見ますと、小金井を代表する緑というのは4つあります。国分寺崖線、野川の緑、それから公園の緑、玉川上水の緑、そして民有地、農地、寺社・屋敷林、大学等も入っています。これ、4つあるのが、何でこうなると……、まあ、なるべく要約しようということなのか知りませんが、3つになっていると。3つになったために、4つを3つにしてどうなったかということ、玉川上水を外したと。文言ではあると。だけど絵のほうでは外したと、そういうことかな。

そうすると、子供が見たときに、ぱっと見たときには絵を見ます。ここに4つの絵が入ってくるのがまずいのかなと。全然まずくないんじゃないかなと。この代表的な緑は4つなんだよというのは、子供たちは3つだよと言って、大人は4つだよと、これも何かおかしいので、これは4つにしても別に大した問題ではないのではないかな。文言にあるからいいというふうに言うけれども、子供は絵のところからまず判断して印象をそこで植え付けます。

そういう意味で、見た目のということで行くと、右上の「このままだと小金井のみどりが心配！」というところがあります。これは基本計画のページ4ということですね。減っていくよ、それが心配だということ、東京ドーム幾つ分が幾つ分に減るよという、東京ドームというんですけれども、ぱっと見、子供たちがこの絵を見た瞬間に「あ、東京ドームだ」と思うだろうかというのが1つです。何かお饅頭みたいな感じで。

そして、東京ドームの幾つ分というふうな形でありながら、文言の一番最後に「小金井公園の半分ぐらいのサイズ」と、いきなり小金井公園というのが出てきます。小金井公園のサイズというのは子供たちがどの程度思うのか、この辺もよく分かりませんし、せっかく東京ドームにしたのに、何でここは「東京ドーム8.5個分が減ってしまった」でいけないのか、小金井公園をここに書かなければいけないのか、この辺がちょっとよく分からない。

それから、東京ドーム8.5個分というのが(4.1ha)と。これは概要版かな、本編のほうかな、4.07ヘクタールというふうな書き方があった。この辺も数字の整合性を合わせないと、いくら子供のあれだとしてもちょっとまずいのではないかと。

取りあえず、まずそんなところを印象に思いました。

小木曾会長 ありがとうございます。

まずは、その左のほうの絵ですけど、3つを4つに、本編と合せたらいいんじゃないかと。どうですか。

緑と公園係長 事務局の小林です。まずイラストにつきましては、本編の10ページ、11ページのほうの図を引用しているものなので、今から玉川上水の絵を入れるというのは、申し訳ないですが、できかねるというお答えになってしまいます。

あと東京ドームの絵について、御指摘のとおり、東京ドームに見えないという部分もありますので、事務局の中でも、東京ドーム何個分というのが分かりやすいのかどうかというところが、小学生的にどうなのかというところも検討しておりまして、ほかに何がいいのかというところがなかなか思いつかずに、一般的な東京ドームというもので示させていただきました。絵についてはもうちょっと分かりやすいものをもうちょっと探して表記するようにしたいなと思います。

あと「4.1 ha」というところについて、正確に計画の本編と概要版と整合性が図れるように修正のほうをさせていただければと思います。

小木曾会長 よろしくお願ひします。

はい、お願ひします。

柳井委員 柳井です。ここの文字、心配なことがたくさん載っていて、「このままだと小金井のみどりが心配!」、「みどりってどうしてなくなるとこまるの?」、「このままだと、どんどんみどりがなくなってしまうかも」。子供の資料なので、できればもうちょっと、「どうしたら小金井のみどりが守れるかな」とか、もうちょっとプラスの言葉で表現できないかなというのは思います。

小金井、やっぱりいろいろな問題がある、市自身の問題とか、すごく多いから、子供を育む、こういった細かいことなんですけど、とても大事な気がします。大きくプラスの言葉を使って、しっかりと子供に分かってもらえるような表現方法に変えることはできないでしょうか。

小木曾会長 という御意見ですが……、唯一、左側のところで「じまん」はしていますけれども。

緑と公園係長 事務局の小林です。子どもにどうしたらプラスイメージで守っていただけるとような普及ができるかというところが重要かなというふうに考えて作ってはいるんですが、御指摘いただきましたので、表現についてはこちらで工夫させていただければなというふうに考えます。

以上です。

柳井委員 ありがとうございます。よろしくお願ひします。

あともう一つ、すみません、子供の資料の、文化財センターの部分の写真なんですけど、もうちょっと文化財センターらしい写真の起用を求めたいと思います。これで浴恩館公園って分かるかなというのは、正直、

思うところです。

あともう一つなんですけど、表紙のクイズの答えなんですけど、ツツジが「4月のおわりから5月ごろにきれいにさくよ」と書いてあります。例えば「4月のおわりごろからきれいにさくよ」で短めにとか、浴恩館公園、「歴史があり」とか、そういうことをもし付け加えてもらえたらありがたいと思います。

小木曾会長 ありがとうございます。

 という御意見ですが。

緑と公園係長 事務局の小林です。まず表紙の写真につきましては、ちょっと紅葉をメインにして撮ってしまった関係で、文化財センターが右隅のほうに分かりづらくなっているのかなというふうに思いますので、もうちょっといい写真があるかどうか探してみたいと思います。

 あとは、クイズの答えの部分の浴恩館公園につきましては、おっしゃるとおり、「おわりごろからきれいにさくよ」という文にしたほうが分かりやすいかなと思いますので、そこは修正のほうをさせていただきまして、あとは、歴史もあるという部分については検討させていただきます。

 以上です。

小木曾会長 ありがとうございます。

 ほかにございますか。

矢向委員 矢向です。このクイズの答えがすぐに分からないようにということと逆さまに印刷されているということだということが、私、ちょっと理解するまでに時間がかかりました。最初は、ぱっと見、これは間違えてここだけ逆に刷っちゃったのかなと私は思いました。それが1つですね。

 それから、これ、こども版ということで、平仮名で「こども」という記載だったので、私は、割と小学校低学年向けなのかなという印象で開いたところ、これは結構レベルが高いんですね。少なくとも小学校高学年以上ですよ、振り仮名もないし。これは単なる意見なんですけれども、こども版というよりも、例えば家庭版とか、家族で見えていただくというようなものとして位置づけちゃってもいいのかなというふうにはちょっと思いました。

 平仮名の「こども」というと、ぱっと見、低学年向けというイメージ

を持つ方が多いんじゃないかなと。開いてみると、結構、中学生だって十分、高校生だって十分な内容だと思うので、家族で見てくださいと、家庭、家族みたいな、ファミリー版みたいなイメージでも十分意図は達成というか、位置づけとしてはあるのかなと思います。

あと、これは全般的な話で申し訳ないんですけど、この配布基準というのがあるんですか。このそれぞれの、この版はどういったところに何分配布する、概要版と基本計画の、いわゆるどういう市民というか、どういう形でこれが小金井市の中で市民の手に渡るような感じになるのか、そこだけ知りたいです。

緑と公園係長 事務局の小林です。まず裏面のクイズの答えについては、すぐに答えが分からないようにという工夫で反転させていますので、このままの記載でご理解いただければというふうに思います。

あと、「こども版」という名称の使い方につきましては、最初、これは小学3年生以上を対象に作らせていただいています、多分難しくて読めないような漢字も中にはあるところもございますので、そこは仮名を振るなりさせていたいただきたいというふうに思います。

「家庭版」という言葉よりは、やはり子どもに向けて普及啓発を図りたいというところを目的に作らせていただいているので、「こども版」という形の表記で進めさせていただければなと言うふうに考えます。

あと、この計画書全般的な配布場所につきましては、計画書については、基本的に一般に配布させていただくものではなくて、欲しい方には販売という形になります。概要版については、欲しい方がいらっしゃれば無料で配布のほうをさせていただく予定です。あとこども版につきましては、来年度以降、子ども向けのワークショップを年2回開催していく予定でして、ワークショップの参加者は、特に環境学習に興味のある方、親子ですので、全校、全小学校・中学校の生徒に配るよりは、そういう関心の高い親子の配布させていただき、普及啓発を図りたいというふうに考えております。

以上です。

小木曾会長 ありがとうございます。

矢向委員 すみません、今の関連で、これは、こういういい冊子があるじゃないですか。販売するという中で、市役所の、例えば第2庁舎の1階に、市

のこういった冊子の販売コーナーみたいなものがあるといいのかなど。何種類か、いわゆる有料のものがどのくらいあるのか、私、存じませんが、あそこのどこか、1階のフロアの中に、市のこういった刊行物の販売のショーケースみたいなものか何か……、これは別に、市に対しての話なので、ここでということじゃないんですけど、何かそういうのがあるといいなというふうに思います。

小木曾会長 ありがとうございます。

矢向委員 販売コーナーがあると、市民の目に留まりやすいというか……。

小木曾会長 これだけじゃないでしょうからね、市は。

矢向委員 そうなんです。だから市全体の話で、だからここで別に回答はいいです。

緑と公園係長 事務局の小林です。第2庁舎の6階、情報公開コーナーには、計画書を全般的に閲覧ができるものがございます。あとは図書館についても、この計画書は送付することを予定してまして、図書館でも閲覧ができるようになります。あとはホームページに掲載させていただくので、ホームページからも見ることもできるということになります。

以上です。

小木曾会長 買いたい人は、どこで販売しているとか、そういうことも記載されているんですか。

緑と公園係長 そこまでは記載はしてございません。

矢向委員 幾らぐらいなんですか。

事務局 まだ正式には決まっていないのですが、二、三千円程度です。

小木曾会長 よろしいでしょうか。

串田委員 串田です。今の販売の件ですけれども、こども版見開きの下に「市のHPからもダウンロードできるよ!」と書いてありますけれども、これは本編全部が無料でダウンロードできるということでしょうか、それが1つ。

それから、先ほどクイズのところ、いろいろお話がありましたけれども、浴恩館のところ、なるほどと思って見ていたんですけど、「ツツジの木は約400本もあって」という、その「あって」が字が大きい、フォントが大きいのと、『天然記念物』に指定されているよ」と。これ、「市の天然記念物」と書かないと、国の天然記念物かと。これは「市の」

としっかり入れないといけないと思います。

そのフォントが大きいなと思って見たら、表紙の下に書いてある「小金井市が考えたみどりを守るための『基本計画』」の部分で、その「みどり」のフォントも大きくなっている。

そうすると、これ、いろいろ直したり、置き換えたり、いろいろしていると思うので、もしかしたら気がつかないところでフォントのサイズの問題がいろいろ出てくるかもしれないので、これも、先ほどの図案の件と同じように、全体を精査したらいいかなと思います。細かいことで言えばそれが1つ。

それから、全体のことで1つ感想ですけれども、先ほど柳井委員のほうから、心配事ばかり大きくいろいろ出ていてというような印象があるというふうにありましたけれども、確かにそうやって見ると、肝心なのは一番下にある目標の1と2と3で、こういうことをしようと、こういうことをしてみんなで緑を守ろうということなのに、これが非常に小さくて、上のほうは、緑がこんな形になっているよという現状、そして真ん中にキャッチコピーがあって、下に、こういう目標で頑張ろうということなんですけど、頑張ろうというところの絵が、上はジブリの絵というか、写真を使ったり、それからイラストを使ったり、いろいろ図版を東京ドームにしたり、使っていながら、ここはグレーの、そういうものとちょっと違った、まあ、この形はこの形でいいのかもしれませんが、全体で見ると、協力して守ろうという、その目標のところ非常に小さく感じてしまう。

それで、ぱっと見ると、キャッチコピーもこれだけ大きく入れるならば、上のほうの、「みんなのじまん」、「このままだと」云々、「みどりってどうしてなくなるとこまるの？」という緑色の帯の中に入っているキャッチコピーのところが、よく見ると違うんですけれども、同じように見えてしまう。

だから、ぱっと、子供たちは絵で見る、入ってきた文字じゃなくて視覚で見るということでいくと、何をというの、ぱっと見、よく分からない。もうちょっとその辺は考えていただけるといいんじゃないかなというふうに思いました。

確かにイラストを、本編で使ったのをここで利用してもいいかもしれ

ないけれども、目標のところは肝腎なところなわけですから、もうちょっと考えてもいいかなというふうに思いました。

以上です。

小木曾会長 ありがとうございます。

こども版といいながら、非常に分かりやすく示すことが重要だと思いますが、今の御意見、どうですか。

緑と公園係長 事務局の小林です。まずQRコードのダウンロードにつきましては、計画書本編、概要版、こども版が無料でダウンロードできるようにページのQRコードを貼り付けることを予定しております。

クイズの部分の浴恩館の部分の「市の天然記念物」という「市の」が抜けていますので、「小金井市の」というように、分かりやすく表現するようにいたします。

あと、御指摘のフォントの違いが何か所かありますので、この修正のほうをさせていただきます。

最後に、目標の部分が、おっしゃるとおり、小さくなっているなという印象がありますので、目標のイラストも含めて、色だとか、うまく工夫をして、もうちょっと目標が分かりやすいように、色使い、レイアウト等を修正していただければと思います。

以上です。

小木曾会長 はい。よろしいですか。

串田委員 はい。

小木曾会長 ほかにございますか。

小山委員 小山です。こども版のほうには、そのQRコードをつけるということなんですけれども、このQRコードは、ぜひ概要版とか本編にも入れたほうがいいのではないのでしょうか。スペースを見つけて、子供にも見てほしいけど、やっぱりこの概要版を見た人が本編を見たいなと思ったときにすぐに見られるようなことが必要だと思うので、ぜひそれは、どこかスペースを見つけて入れたほうがいいのではないかと思います。

それからこども版ですけど、4ページ目、後ろのところですが、行動のチェックリストがあります。ここのところに、上から4つ目に、「市内の畑でとれた野菜を買って食べる」という項目があります。その4つ下にも「畑でとれた野菜を買う」というのがあるんです。なので、ここ

は、私が思ったのは、本編のほうの42ページのところに、小学生のワークショップを行ったときの、環境行動チェックリストを自分たちで考えたのがありますね。ここの中の真ん中よりちょっと下のところに「野菜を育てる」というのも1つあるんです。なので、この下の「畑でとれた野菜を買う」というのを、例えば畑で野菜を育てる、自分の庭で野菜を育ててみるというような項目にして、「とれた野菜を買って食べる」、その下に「近所でどんな野菜を育てているか知る」、その下辺りに、自分でも育ててみるような行動をしてみるというようなことがあってもいいのかなと思いましたので、そのところもちょっと精査していただけたらいいかなと思いましたので、よろしく願いいたします。

小木曾会長 ありがとうございます。

QRコードと、今の家で野菜を育てる、いかがでしょうか。

緑と公園係長 事務局の小林です。QRコードにつきましては、計画書の本編と概要版の中にも入れていきたいなというふうに考えます。

あとこども版の「畑でとれた野菜を買う」という部分の重複については、「畑で野菜を育てる」だとか、庭で育てるというのはなかなか難しい部分もあるかもしれないですけど、プランターとかで育てるというような表記に修正させていただければと、あと順番も含めて変更させていただければと思います。

小木曾会長 私のほうから1ついいですか。表紙の右下にいる、これ、小金井くんとかいうんですか。こきんちゃん、小金井のゆるキャラ、名前を書かれたら……、みんな知っています？ こきんちゃん。私だけですか、知らなかったのは。失礼しました。

あと、私、もともとこのこども版があってもいいんじゃないかということで、ここまでやっていただいたので、私はうれしく思います。これは結構分かりやすいのかなと思っていますので、これをうまく活用してほしいなと思います。

さっきちょっと話していたんですが、括弧書きで、多少、漢字の振り仮名が、「ばっさい」とか、そういう言葉は書いてありますが、1・2年生から3年生でも読めるように振り仮名を漢字に入れてもいいかなと思います。ちょっと煩雑になる可能性もありますが、その可能性について御意見をいただければと思います。

緑と公園係長 事務局の小林です。まず表紙のこきんちゃんという名前の表記ですが、市民だったらこきんちゃんは認知されているのかなというふうに認識はしているところです。

あと振り仮名につきましては、ちょっと難しい漢字もありますので、振り仮名を振るようにさせていただきます。

以上です。

小木曾会長 家庭に子供が持ち帰って親が見る事により、家族で知ってもらうためにはいいんじゃないかと。今後の担い手を育てるためにも。

私からは以上です。

ほかにございますでしょうか。大丈夫ですか。

それでは、こども版のほうもこれで終わりたいと思います。

ほかにございますか。大丈夫ですね。

本日の審議会は今年度最後の審議会になります。本日、計画案で出された御意見に対して、軽微な文言等の修正は、会長の私と小山副会長と事務局とで行うことで一任いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

小木曾会長 ありがとうございます。

ほかに、全体を通してでも構いませんので、特に何かありましたら御意見をいただければと思いますが、いかがですか。はい、どうぞ。

柳井委員 柳井です。概要版の開いたところの基本方針2の(1)、「魅力ある公園をつくる」のところにプラスで付け加えていただきたいなと思ったのが、市民が利用できるということ、市民が活用できるということ、公園がそういう場であるということを知っている市民が非常に少ないと思うんですね。私も最近知ったんですけど、これの周知をしっかりとこの機会にしていくということが、大きく公園を活用していくきっかけの1つになっていくと思うんですね。それをしていただきたいなと思います。

小木曾会長 それは、普通に使うだけじゃなくて、申し込んで活用するという、そういう意味ですね。

柳井委員 はい、そうです。それができるということを知っている市民が少ないと思うので、その周知をどこかに入れていただきたいと思います。

小木曾会長 本編には入っていますよね。

柳井委員 28ページの部分、ここを幾度か読んでみたんですけど、もうちょっと分かりやすく、市民が活用できるということを表現してもらえると活性化するんじゃないかなと思うんですけども。

小木曾会長 関連質問ですか。はい、お願いします。

串田委員 すみません、今、公園の利用に関して、その前に矢向委員のほうからいろいろ資料その他の情報に関してありましたけれども、これは、今やっているのは緑の基本計画であって、いろいろな情報の公開に関しては、もしこの基本計画の中に入れると、それで済んだというふうになってしまいます。ですからこれは、例えば緑と公園係のところへ行くと、カウンターのところのそういう資料なり情報があると、そういうような形の努力で認知を広めていくと、そういう形を取らないと、基本計画に入っているからいいでしょうというふうにならないようにするための工夫ということを考えないといけない。

ですから、緑と公園係の、あそこのカウンターはいろいろなものがごちゃごちゃありますけれども、ほかの課も大体みんないろいろ、ひたすら、あそこ、4階なら4階に入っていくと、両側はパンフレットだらけですね。あそこをもうちょっときれいにして、緑と公園係は、こういう形の公園の利用はこうしていますよとか、そういうことが分かるような工夫をしていただければ、そっちのほうが大きいのではないかなというふうに思いました。すみません。

柳井委員 ありがとうございます。よろしくお願いします。

2年前、ワークショップを3日間かけてやったときにも、この案はしっかりと出ているんですね。その後、しっかり周知していただくということになってはいたんですけど、これ、やっぱりしっかりとやらうということが大事かなと思います。よろしくお願いします。

緑と公園係長 事務局の小林です。計画の中に、利用しやすいような、利用できるというような表現というのは記載されていないんですが、ホームページのほうは、昨年度、ページをリニューアルさせていただいて出させてはいただいているところがございます。なかなか市民の方に認知されるまでには至っていないかなと思いますので、併せて周知方法等を工夫しながら、市民の皆さんに伝わるような形で取り組んでまいりたいと考えます。

小木曾会長 よろしいですね。

柳井委員 はい、ありがとうございます。

もう一ついいですか。先ほどのこども版のところなんですけど、「小金井のみどりをまもろう」とか、「みどりがあるとどんないいことがあるの?」とか、そういった感じになるといいなと思いました。もうちょっと明るい緑とか、色合いも明るい感じにしてもらえるとありがたいです。よろしくお願いします。

小木曾会長 言葉では簡単ですけど、いろいろ工夫があろうかと思いますが、あと一息、頑張っしてほしいと思います。よろしくお願いします。

ほかにございませんでしょうか。どうぞ、環境政策課長。

環境政策課長 環境政策課長です。現在の審議会の委員の皆様におかれましては、令和3年3月31日をもちまして任期が満了となります。緑の基本計画策定という非常に重要な任期中に審議会委員をお務めいただき、誠にありがとうございました。

また、串田委員と矢向委員におかれましては、今回で3期、委員をお務めいただきましたので、制度上でも任期の満了となります。長きにわたり貴重な御意見をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

新たな委員につきましては、令和3年度第1回緑地保全対策審議会にて紹介させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

小木曾会長 本日は、これもちまして、令和2年度第3回小金井市緑地保全対策審議会を閉会いたします。皆さん、どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

— 了 —